

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科		
科目名称	敷地計画論					授業形態	講義		
科目コード	235800	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	関西 剛康							ICT活 用	○
授業概要	<p>この授業では、都市公園や都市緑地の造園空間を整備するために必要な調査・計画・設計に関する基本的知識と技術を習得することが目的である。学際的な設計原理や実務的知識の基礎を修得し、ランドスケープのプランとデザインの基礎的な専門知識について学ぶ。</p> <p>教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所等で20年にわたって国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会会長などの職務経験も豊富である。授業では、実際に計画設計したランドスケープや先進事例を紹介しながら行う。</p>								
関連する科目	本授業の履修より前には環境園芸概論、造園学概論、造園植栽論、庭園学、庭園学演習を、同時に敷地計画論演習、そして本授業の履修後には都市緑地論、都市緑地論演習を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業は、テキスト代わりに配布するプリント資料（第1～4章で構成、約70頁）と、パワーポイントによるスライドをもとに行う。</li> <li>2. 順番に受講生にテキストを音読してもらい、教員が解説を行う方式で授業する。</li> <li>3. テキスト内の重要なキーワードは穴埋式となっており、授業進捗に伴いスライド上で示して伝えるので書き写すこと。</li> <li>4. アクティブラーニングとして、各章ごとにグループディスカッションで協議を行い、受講生らで学んだ内容について意見交換及び纏めの発表を行って理解を深める。</li> <li>5. ICTの活用として、授業内ではWeb小テストを行って理解を深める。</li> </ol>								
授業計画 【第1回】	序論 （敷地計画論の概要） ・講義全体の概要、評価方法について説明								
授業計画 【第2回】	第1章 都市公園・都市緑地の基本知識 （公園や緑地の役割について、公園や緑地の必要性について学ぶ） ・1.1 公園や緑地の役割について ・1.2 公園や緑地の必要性について								
授業計画 【第3回】	第1章 都市公園・都市緑地の基本知識 （公園等の種類と配置基準について学ぶ） ・1.3 公園等の種類と配置基準について ・1.4 住区基幹公園（街区公園・近隣公園・地区公園）について								
授業計画 【第4回】	第1章 都市公園・都市緑地の基本知識 （住区基幹公園、都市基幹公園、その他の公園や緑地について学ぶ） ・1.5 都市基幹公園（総合公園・運動公園）について ・1.6 その他の公園や緑地などについて ・1.7 公園の参考事例 ・第1章まとめのワークショップ開催								
授業計画 【第5回】	第2章 都市公園・都市緑地の専門の知識と技術 （公園や緑地の計画・設計業務について学ぶ） ・2.1 公園や緑地の計画・設計業務について ・2.2 基本的な計画・設計について								
授業計画 【第6回】	第2章 都市公園・都市緑地の専門の知識と技術 （基本的な計画・設計について学ぶ） ・2.3 造成の設計 ・2.4 園路設計								
授業計画 【第7回】	第2章 都市公園・都市緑地の専門の知識と技術 （造成の設計、園路の設計について学ぶ） ・2.5 階段・スロープの設計 ・2.6 休憩施設の設計 ・第2章まとめのワークショップ開催								
授業計画 【第8回】	第3章 グリーンインフラの基礎知識 （グリーンインフラの基礎知識について学ぶ） ・3.1 グリーンインフラの背景とその目的								
授業計画 【第9回】	第3章 グリーンインフラの基礎知識 （グリーンインフラの基礎知識について学ぶ） ・3.2 海外におけるグリーンインフラ								
授業計画 【第10回】	第3章 グリーンインフラの基礎知識 （グリーンインフラの基礎知識について学ぶ） ・3.3 国内でのグリーンインフラの位置づけ								
授業計画 【第11回】	第3章 グリーンインフラの基礎知識 （グリーンインフラの基礎知識について学ぶ） ・3.4 すでにある身近なグリーンインフラ ・第3章まとめのワークショップ開催								

授業計画【第12回】	第4章 グリーンインフラの専門知識と技術 (グリーンインフラの専門知識とその技術について学ぶ) ・4.1 グリーンインフラの先進事例について-1
授業計画【第13回】	第4章 グリーンインフラの専門知識と技術 (グリーンインフラの専門知識とその技術について学ぶ) ・4.1 グリーンインフラの先進事例について-2
授業計画【第14回】	第4章 グリーンインフラの専門知識と技術 (グリーンインフラの専門知識とその技術について学ぶ) ・4.1 グリーンインフラの先進事例について-3 ・第4章まとめのワークショップ開催
授業計画【第15回】	総論 (第1～4章を振り返り、敷地計画について総括) ・纏め
授業の到達目標	1. 造園空間における敷地計画ができる専門職業人としての自覚・意欲を修得【態度・志向性の育成】 2. 造園空間における敷地計画ができる資質・能力を学び、その実践に向けた自己の課題を把握【自己管理能力・生涯学習力】 3. 造園の専門職業人として、造園空間における敷地計画を理解し、敷地計画ができる方法を修得【職業知識・技能の育成】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	1. 授業で配布するテキスト資料等を授業前に精読すること。 2. 予習は1時間程度行うこと。
授業時間外学習【復習】	1. 授業後にさらに理解を深めるためにテキスト資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。
課題に対するフィードバック	1. 学期末定期試験の終了後、解説する。 2. 評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説する。
評価方法・基準	1. レポート(40点) 2. 学期末試験(60点) 3. 授業への取り組みも評価(授業態度によってはマイナス評価も行う)
テキスト	テキストは、授業の進捗にあわせてプリント(A4コピー資料は約80頁)を配布する。 (各自で紙ファイルやクリアファイルに綴じ込むことが望ましい)
参考書	1. 八木 健一(2022) : はじめてのランドスケープデザイン : 学芸出版, pp176 2. グリーンインフラ研究会(2020) : 実践版! グリーンインフラ : 日経BP社, pp520 3. 小出兼久(2019) : グリーンインフラストラクチャー 米国に学ぶ実践 : 環境新聞社, pp250 4. 国土交通省(2017) : グリーンインフラ : < <a href="https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_mn_000034.html">https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_mn_000034.html</a> > 5. 丸太頼一・島田正文(2012) : ランドスケープ計画・設計論 : 技法堂出版, pp324 6. 武田史朗・山崎亮・長濱伸貴(2010) : ランドスケープデザインの歴史 : 学芸出版, pp208
備考	